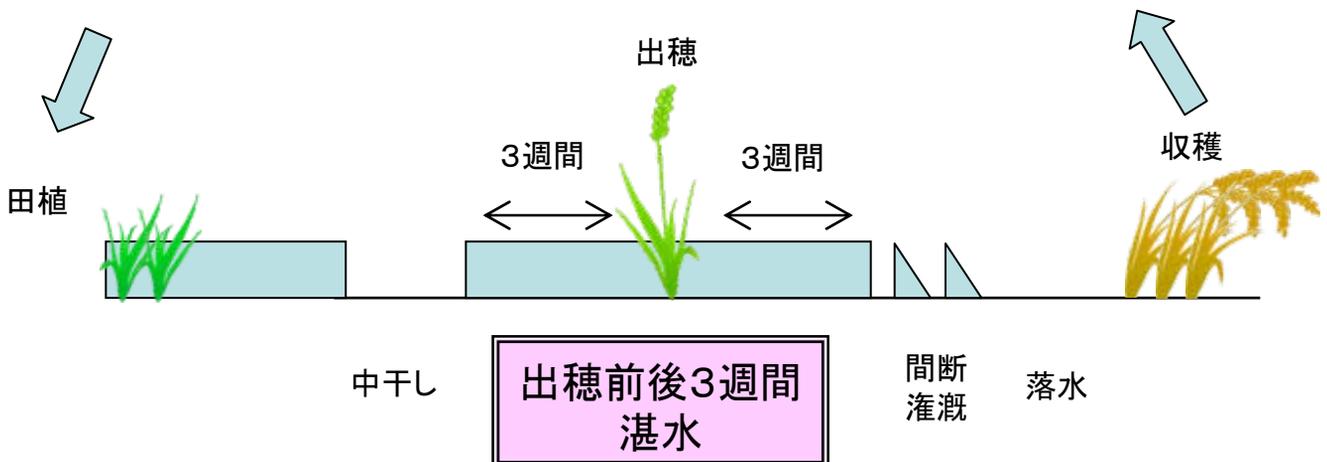
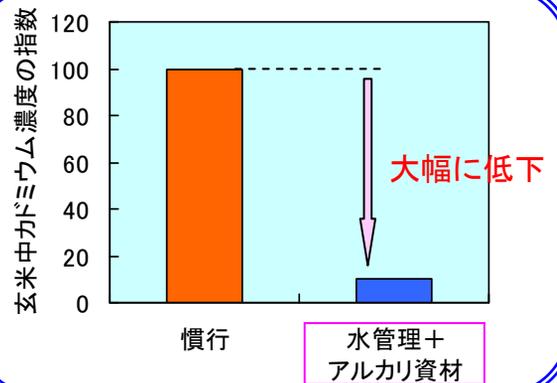
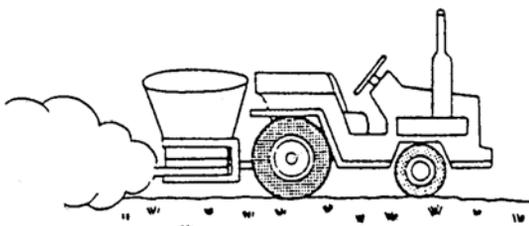


# 米のカドミウム濃度を下げるには、 水管理とアルカリ資材施用が有効です

人体に有害なカドミウムについて、米の濃度の国際基準(0.4ppm)が平成18年に決定されました。これを受けて我が国においても国内基準の改正作業が進んでいます。

本県においては現時点(平成20年5月)の国内基準(1ppm)を上回る高い濃度の米は生産されていませんが、新たな基準に適合する安全な農産物生産に向けた技術を確立し、対策を準備しておく必要があります。

アルカリ資材施用  
(消石灰、水マグなど)



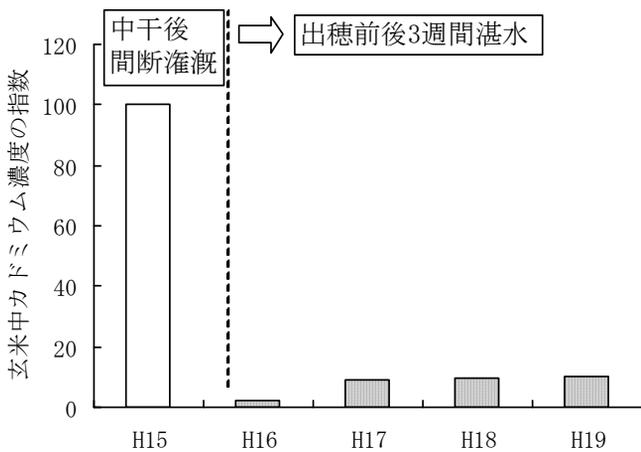


図1 水管理が玄米中カドミウムに及ぼす影響

ポイント①  
出穂前後3週間の  
湛水管理で、カド  
ミウム濃度は大き  
く低下します

ポイント②  
石灰等のアルカ  
リ資材を施用す  
ることでカドミ  
ウム濃度は低下  
することが可能  
です

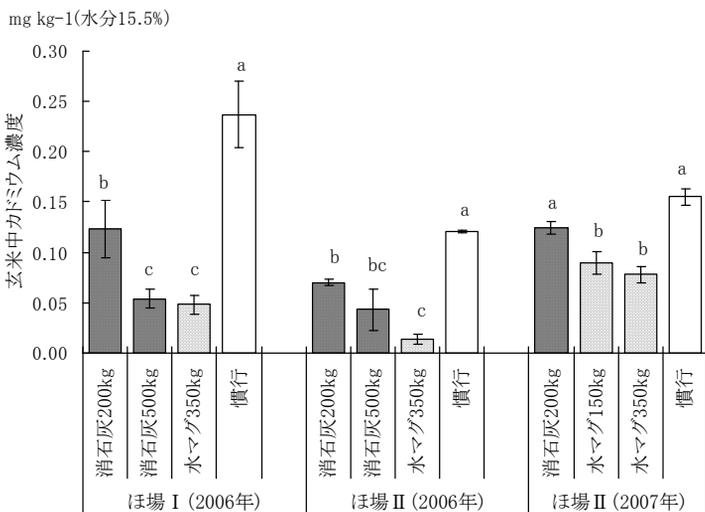


図2 アルカリ資材施用が玄米中カドミウム濃度に及ぼす影響

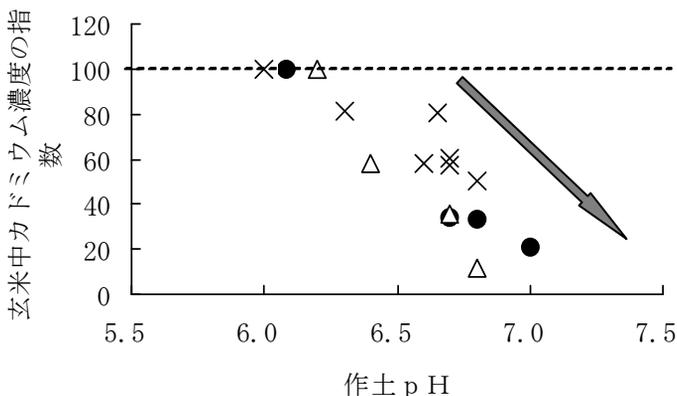


図3 アルカリ資材施用による土壌pHの上昇が玄米中  
カドミウム濃度の低下に及ぼす影響

注. プロットは試験ほ場の違いを示している

ポイント③  
アルカリ資材は土壌  
のpHを高めて、カ  
ドミウムの吸収を抑  
えます

\* 本書から転載・複写する場合は、必ず  
農業試験場の許可を受けてください

(問い合わせ先)  
鳥取県農林総合研究所  
農業試験場 環境研究室  
電話：0857-53-0721